

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ ⑭

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「史跡名勝天然記念物(史跡2)」.....

県指定史跡には、貝塚1件、古墳(群)3件、^{かまあと}窯跡2件の計6件が指定されています。いずれも県内で歴史的、あるいは学術的価値が高いものとして指定されています。

なかのたにかいづか 中谷貝塚

中谷

中谷貝塚が発見されたのは、大正2年(1913年)と古く、その後の発掘調査によって縄文中期から晩期(約5,000~2,500年前)にかけての貝塚であることが分かりました。貝層は5~80cmの厚さで堆積しており、ヤマトシジミを



中心に、ハマグリ、マガキなどの貝類、土器や石器、骨角器などの生活用品も見つかっています。縄文人の食生活がよく分かる遺跡です。

おじんだに 鬼神谷窯跡

竹野町鬼神谷

八幡神社の参道に、須恵器を焼いた窯跡が3基並んで見つかりました。発掘調査で、5世紀末から7世紀にかけて、稲荷神社の前にある1号窯から奥に向かって築造されたことが分かりました。1号窯は兵庫県内で最も古い須恵器窯の1つで、近くには工房と思われる住居跡も見つかっています。



たてぬい 楯縫古墳

日高町鶴岡

7世紀初頭に築造された大型の古墳で、墳丘の径は29mあります。現地では大きな石を組み合わせて造った横穴式石室が姿を見せており、石室の全長は13mにもなります。死者を葬る部屋(玄室)の長さは5m、高さは3.8mで、市内で一番大きな横穴式石室をもつ古墳です。石室内からは、土器のほか、馬具などが発見されています。



ふたみだに 二見谷古墳群

城崎町上山

古墳群4基のうち、保存状態がよい1号墳と4号墳の横穴式石室の中には、それぞれ刳抜式と組合せ式の家形石棺が置かれていました。4号墳からは珍しい遺物として金銅製の鈴が見つかっています。7世紀前半から次々と造られていった二見谷古墳群は、この時期の但馬での代表的な古墳の1つです。



語句の解説

- 須恵器…窯を使って焼成した土器。高温で蒸し焼きにするため、暗青色になる。
- 墳丘…盛土をして造られた小高い丘。平面形によって円墳や方墳などがある。
- 家形石棺…家の屋根に似た形の蓋をもつ石棺。

※中谷貝塚の貝層はぎ取り標本は、出土文化財管理センターに、楯縫古墳の遺物は、但馬国府・国分寺館に、また二見谷古墳群の遺物の一部は、城崎美術館に展示しています。

●発行/豊岡市
☎0796612311
市長室FAX2411004
●編集/政策調整部秘書広報課
FAX2412575

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎47-1111
・出石 ☎52-3111
・城崎 ☎32-0001
・日高 ☎42-1101
・但東 ☎54-1000